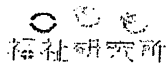


## 山田町ソントハウス が目指すもの

特定非営利活動法人こども福祉研究所理事長  
東洋大学社会学部  
森田明美



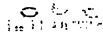
## 山田町ソントハウスの取組み

- 「民・民」の取組み
  - ✓ 国際的奉仕団体からの寄付を受け、NPOこども福祉研究所（理事長：森田明美）が企画・運営2011.8.25開所
  - ✓ 地元主体（地元3人で支部組織ボラ）
  - ✓ 多数の民間企業や団体からの寄付・協力（食材、教材、備品など）
  - ✓ 大学生ボランティアの派遣
  - ✓ 地元で雇用（7人）
  - ✓ 地元で消費



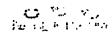
## 山田町ソントハウスの取組み

- 【開設時間】\*誰でも利用可⇒無料
- ・平日/14:00~20:00
  - ・土曜日/14:00~19:00  
(日曜日・祝日は休み)
  - 170人が登録(中学生490人中)。
  - 毎日30~40人が利用中。
  - 子ども委員会も活動中。
  - 「おかえり」からはじまる居場所支援の中心に軽食がある



## 山田町ソントハウスの取組み

- 子ども：「おらーほ」\*無料
- ✓ 学習スペース  
(自習+学習支援、寄り添い)
  - ✓ 居場所
  - ✓ 軽食提供
- 大人：「街かどギャラリー」
- ✓ 誰でも立ち寄れる
  - ✓ 文化活動拠点
  - ✓ 仮設入居者の交流、憩いの場
- ↑小学生たちもやってきた
- 見守り、  
支え、  
応援する⇒交流する



## 山田町ソントハウス支援の構造

「おらーほ」と「街かどギャラリー」  
—子どもと市民の参加と協働による希望の循環—

